

令和4年度国民健康保険特別会計決算報告と今後の税率改正について

1 決算報告

令和4年度は、歳入は当初予算見込みを上回る国保税収などとともに、歳出は予備費の減等により、形式収支は約3.6億円の黒字となった。また、基金残高は、約5億円の基金繰入を行ったものの、決算剰余金から、3.5億円の基金積み立てを行ったことにより、現在の基金残高は約18.8億円となった。

(1) 令和4年度決算総括表

単位：千円

歳入科目	R3決算	R4現計 算 算額	R4決算	R4決算- R4現計 算 予算	歳出科目	R3決算	R4現計 算 算額	R4決算	R4決算- R4現計 算 予算
01款 国民健康保険税	6,864,978	6,369,556	6,595,687	226,131	01款 総務費	459,971	478,882	465,460	△ 13,422
02款 一部負担金	0	4	0	△ 4	02款 保険給付費	22,627,638	23,437,583	22,402,114	△ 1,035,469
03款 国庫支出金	23,850	683	814	131	03款 納付金	8,916,288	9,351,492	9,351,488	△ 4
04款 県支出金	23,291,991	23,986,446	22,882,124	△ 1,104,322	04款 共同事業拠出金	1	13	1	△ 12
05款 財産収入	508	950	893	△ 57	05款 財政安定化基金拠出金	0	1	0	△ 1
06款 繰入金	2,839,805	2,949,743	2,931,901	△ 17,842	06款 保健事業費	240,490	257,096	220,579	△ 36,517
(繰入金のうち基金分)	401,127	506,738	506,738	0	07款 積立金	508	950	893	△ 57
07款 繰越金	70,556	313,772	313,772	0	08款 公債費	0	2	0	△ 2
08款 諸収入	157,140	142,646	154,602	11,956	09款 諸支出金	290,160	89,879	79,601	△ 10,278
09款 市債	0	1	0	△ 1	10款 予備費	0	147,903	0	△ 147,903
歳入合計 A	33,248,828	33,763,801	32,879,793	△ 884,008	歳出合計 B	32,535,056	33,763,801	32,520,136	△ 1,243,665
形式収支 (A - B)						713,772		359,657	

○決算剰余金 359,657千円（現計予算-決算）の主な内訳

歳入増 ①国保税	+ 226,131千円
歳出減 ②予備費	△147,903千円

○決算剰余金の処分

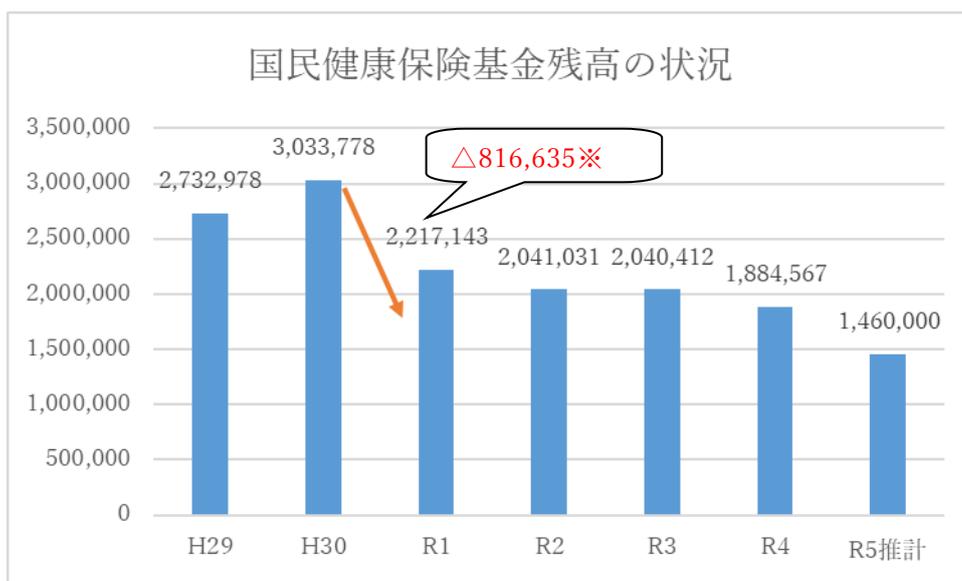
国民健康保険基金への積立	350,000
翌年度繰越額	9,657

【参考】新型コロナウイルス感染症対策

コロナ減免	17,255
傷病手当金	2,397

(2) 国保特会基金残高

単位（千円）



(※) H30 から R1 の基金残高の大幅減は、都道府県化による制度移行の影響によるもの。

2 今後の税率改正

国保事業を円滑に進めるためには、安定した財政基盤が前提にあり、安定した財政運営を行うためには、収支状況のバランスに注視しながら、税率改正の検討を進めることとなる。

今後の税率改正は、県に納める納付金額（県内の医療費動向に基づき決定）及び国民健康保険税の収入状況等を考慮し、財源不足を補うための基金残高が 10 億円を下回る見込みとなる場合には検討を行う必要があると考えている。（10 億円の基準は、過去の納付金算定時の基金繰入金活用状況を目安に設定）

これまでの収支状況は、令和元年度から 3 年度は収支が均衡した状況が続いたものの、4 年度以降は受診状況がコロナ禍前の水準に戻り、一人あたりの医療費等も増加傾向にあることから、納付金の増額に伴い、基金残高の減少が懸念される。

現状としては、5 年度の決算剰余金を含む基金残高は 14.6 億円と見込んでおり、10 億円以上の基金残高を確保できることから、6 年度の税率改正は実施しないこととする。

今後の納付金の状況や県の保有する基金を含め、基金残高に配慮しながら単年度収支の適正なバランスを見極め、7 年度以降の税率改正について慎重に検討していきたい。

■群馬県の決算剰余金状況

- ・ H30 決算 約 21 億円
- ・ R1 決算 約 67 億円 (前年 +46 億円)
- ・ R2 決算 約 126 億円 (前年 +59 億円)
- ・ R3 決算 約 94 億円 (前年 △32 億円)
- ・ R4 決算 約 54 億円 (前年 △40 億円)

令和4年度決算総括表 国保特会

報告事項ア関係

[歳入]

款名	R4当初	R4現計 予算額	R4決算	R3決算	R4決算－ R4現計予算	R4-R3決算額	R4-R3決算 主な増減内訳
1款:国民健康保険税	6,386,436	6,369,556	6,595,687	6,864,978	226,131	△ 269,291	○被保険者数の減少等に伴う減 △269,291千円
2款:一部負担金	4	4	0	0	△ 4	0	
3款:国庫支出金	901	683	814	23,850	131	△ 23,036	○災害臨時特例補助金の減 △23,625千円
4款:県支出金	22,688,813	23,986,446	22,882,124	23,291,991	△ 1,104,322	△ 409,867	○普通交付金の減 △233,111千円 ○県繰入金(2号分)の減 △108,301千円 ○特別調整交付金の減 △47,916千円
5款:財産収入	521	950	893	508	△ 57	385	○基金積立金の増 +385千円
6款:繰入金	3,273,535	2,949,743	2,931,901	2,839,805	△ 17,842	92,096	○基金繰入金の増 +105,611千円 ○保険基盤安定繰入金の減 △29,103千円
7款:繰越金	1,000	313,772	313,772	70,556	0	243,216	○前年度繰越金の増 +243,216千円
8款:諸収入	113,154	142,646	154,602	157,140	11,956	△ 2,538	○一般保険者第三者納付金の増 +24,586千円 ○一般被保険者延滞金の減 △14,203千円
9款:市債	1	1	0	0	△ 1	0	
会計合計	32,464,365	33,763,801	32,879,793	33,248,828	△ 884,008	△ 369,035	

(A)

[歳出]

【単位:千円】

款名	R4当初	R4現計 予算額	R4決算	R3決算	R4決算－ R4現計予算	R4-R3決算額	R4-R3決算 主な増減内訳
1款:総務費	491,077	478,882	465,460	459,971	△ 13,422	5,489	○国民健康保険税徴収の増 +3,334千円 ○職員人件費の増 +2,662千円
2款:保険給付費	22,161,978	23,437,583	22,402,114	22,627,638	△ 1,035,469	△ 225,524	○一般被保険者療養給付費の減 △185,736千円 ○一般被保険者高額療養費の減 △59,506千円
3款:国民健康保険 事業費納付金	9,351,492	9,351,492	9,351,488	8,916,288	△ 4	435,200	○医療給付費分の増 +413,913千円
4款:共同事業拠出金	13	13	1	1	△ 12	0	
5款:財政安定化基金 拠出金	1	1	0	0	△ 1	0	
6款:保健事業費	257,273	257,096	220,579	240,490	△ 36,517	△ 19,911	○特定健康診査等事業の減 △20,102千円
7款:基金積立金	521	950	893	508	△ 57	385	
8款:公債費	2	2	0	0	△ 2	0	
9款:諸支出金	51,009	89,879	79,601	290,160	△ 10,278	△ 210,559	○一般会計繰出金の減 △193,260千円 ○保険給付費等交付金返還金の減△29,323千円
10款:予備費	150,000	147,903	0	0	△ 147,903	0	
会計合計	32,463,366	33,763,801	32,520,136	32,535,056	△ 1,243,665	△ 14,920	

(B)

歳入(A)－歳出(B) = 359,657 千円

<p>■決算剰余金の処分</p> <ul style="list-style-type: none"> ○国民健康保険基金への積立 350,000千円 (基金: R4年6月 2,040,411千円 → R5年6月 1,884,566千円) ○翌年度繰越額 9,657千円 ○R5年度末基金残高見込み 1,205,490千円 〔 R5年6月 1,884,566千円－①R5取崩予算額 679,344千円 +②R5基金利子積立予算額 268千円 〕 	<p>■群馬県の決算状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ○H30決算剰余金 約21億円 ●県療養給付費返還金○億円 ○R1決算剰余金 約67億円 (前年度 23億、前々年度 37億) ○R2決算剰余金 約126億円 ●県財政安定化基金残高 43億 ○R3決算剰余金 約94億円 ○R4決算剰余金 約54億円 <p>★上記決算剰余金54億から矢印先の金額を返還</p> <p>R4年度県は保険給付費を+57億(コロナ対応)で追加補正した経過があるため、今年度も保険給付費が増加する状況であれば県財政も厳しい状況</p>
--	---